



Route Romantique San'in

縁の道—山陰—

令和3年4月26日
一般社団法人 山陰インバウンド機構

観光カルチャーで地域は豊かになる 観光商品開発マニュアルを発刊しました。

地域の人口減少はさらに加速していくなか、10年後、20年後にも住んでいる街が誇れる街であり続けるために、観光が地域の未来を創造していくための最後の切り札だと考えます。

山陰インバウンド機構では、このたび、観光で地域を豊かにしていくための取組の考え方や具体的な手法などを記載した「観光商品開発マニュアル」を発刊しました。

この冊子では、観光は地域の豊かさを創出するカルチャーであるとしています。

“観光”と“地域の価値”がつながり、地域の豊かさを来訪者、地域住民双方が実感していくことができるとすれば、観光がまさにカルチャーとして地域に根付いていくものになると考えます。その際の観光客に伝わる地域の価値とはなにか、地域を売るために必要な観光マーケティングとは何かを紹介しており、取組の実践例や商品化に向けての参考となる事例紹介なども掲載しています。

本マニュアルは、地域の市町村、観光協会、DMO、観光関連事業者などに5月以降順次配布していく予定です。地域が主体となって持続的な観光地域づくりを行っていくためのきっかけになれば幸いです。

◇媒体名：観光商品開発マニュアル～観光カルチャーで地域は豊かになる～

◇発行日：令和3年3月31日

◇配布先：市町村、観光協会、DMO、観光関連事業者ほか

◇発行：一般社団法人山陰インバウンド機構

◇後援：公益社団法人日本観光振興協会

◇内容

(第一部) 観光で地域を豊かにする

観光の意義を感じて、今後積極的に取り組んでいこう、あるいはこれからの観光に向かって進んでいこうとしている皆様に向けた内容

(第2部) 観光で地域を売り込む

実際に観光商品をつくる時に、まず何から始めれば良いのか、どういう手順で進めるべきか等を説明

(事例紹介) 観光で地域を豊かにするための活動紹介

(※) 報道機関の方で本冊子をご希望される場合は、下記お問い合わせ先までお知らせください。



【山陰インバウンド機構について】

山陰インバウンド機構には、官民の幅広い連携によって観光地域づくりを推進するために、国の「登録DMO」に認定されています。ミッションは山陰へのインバウンド誘客と地域活性化です。

(機構公式サイト) <https://www.sanin-tourism.com/>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

一般社団法人山陰インバウンド機構 マネジメント部 担当：福間
〒693-0043 鳥取県米子市末広町311番地 米子駅前ショッピングセンター4階
TEL：0859-21-1502 FAX：0859-21-1524 e-mail：sanindmo@sanin-dmo.jp